

委員長挨拶

逆風の中、かまやちさとし先生の 後援活動に更なるご支援を！



宮城県医師連盟委員長
佐藤和宏

今回の参議院選挙は、7月20日(日)頃に行われる予想です。あと約3か月しかありません。当連盟では、昨年8月に「かまやちさとし君を励ます会」を全国に先駆けて挙行し、医師連盟の先生方、関連団体の皆様方を含めて大いに盛り上がりました。釜范先生からも、力強い立候補声明をいただきました。

しかし、その後に行われた総選挙の結果は、自民党は少数与党に転落し、宮城選挙区では1勝4敗という結果でした。すなわち、いわゆる裏金問題に対する国民の不信は極めて強く、自民党にとっては大変厳しい審判が下りました。またその後の物価高に国民は苦しめられ、野党の繰り出す諸政策は国民受けが良いものも多く、自民党は受け身一辺倒となつていきます。したがって、私たちの組織内候補者である「かまやちさとし候補」も厳しい闘いになることは避けられない現実です。

しかしながら、彼が医療系でトップを取れない、あるいは15万票などの得票数でやっと当選するなどの場合、一番喜ぶのは「今回の診療報酬改定をマイナス改定にできなかったことは残念だ、道半ばだ」と宣った

輩ではないでしょうか。高額療養費制度改定の問題等では、医療人としては釈然としないことはありましたが、しかし、なんとしても「かまやちさとし」を大きな力で政治の世界に送り込みたいものだと思っております。

宮城県医師会では、応援ソングの作成、全国への配布、アクスタの作成と連盟会員への配布、各都市医師会理事会への訪問、関連団体幹部との会合、各地域での連盟会議、そして「かまやちさとし総決起大会」を実行中あるいは予定しています。

政治活動の 重要性について

医師連盟の先生方、まさに釈迦に説法ではありますが、医療費や補助金などは、全て政治の世界で決定されます。すなわち、私たちの生活と直結しているのです。重点支援地方交付金では、医療介護に3億円の積み重ねをしていただき、1床当たり18万円増額されました。東京都では、約600の民間病院へ321億円が数年間にわたり、支給されます。緊急支援パッケージでは、日医の尽力などにより、1床当たり4万円が支給される予定です。こうした動きは「全て政治活動の成果」です。

私は政治は嫌いだ、私には関係ない、とクールに決め込まず、ぜひ政治活動に本気になって取り組んでください。なによりも、ご自分のためです。上から目線の言い方で誠に恐縮ですが、どうかよろしくお願い申し上げます。

日本医師連盟・宮城県医師連盟推薦！

かまやち さとし 釜 范 敏 先生 からお寄稿いただきました



優れた医療・介護を すべての人へ、次世代へ

宮城県医師連盟の皆さま、日本医師会副会長の釜范敏（かまやちさとし）でございます。日頃より、皆さまには温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。私は昨年、日本医師連盟執行委員会において次期参議院選挙の組織内候補として擁立するとのご決定をいただきました。現在、全国各地の医療、介護の現場に伺い、日々ご尽力いただいている方々の声をお聞きしております。その中で、日本の医療・介護制度が深刻な危機に直面している現実を痛感しております。

国民皆保険制度は、日本国民が平等に医療を受けることを可能にしてきた大切な仕組みであり、介護保険制度と連携して国民の健康と生活を支えてきました。しかし、少子高齢化、人口減少が急速に進む現在、この医療、介護の仕組みを維持していくことが極めて困難になってきています。今、抜本的な改革が必要です。多くの地域で、医療機関や介護施設の経営が困難となり、地域医療、介護の体制が崩壊の危機に直面しています。一度崩壊したものを修復することは極めて困難であり、崩壊を



食い止めるために、迅速な対策が求められています。国全体の経済を少しずつでも拡大させ、医療機関や介護施設の体力をつけるための適正な報酬改定が必要です。これまでの「治す医療」から「治し、支える医療」へと移行を進め、その地域に必要な医療や介護の資源を確保しなければなりません。同時に、現場で働く医療従事者が心身ともに健康で働ける環境を整えることも不可欠です。処遇の改善や託児所の整備など、働きやすい環境をつくるのが、医療の質を維持する基盤となります。

さらに、次世代を育成する取り組みにも注力しなければなりません。予防接種や健康教育の推進に加え、子どもたちが健やかに成長できる社会環境を整備することが、日本社会全体の持続可能性を高める鍵となります。

私は、これまでの日本医師会における経験を生かし、現場の切実な声を、なるべく多くの国会議員にしっかりと伝え理解を求め、現場の状況を改善するための施策に賛同される方を増やすために、全力で取り組んでまいります。引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

新/春/対/談/



宮城県医師連盟
委員長

佐藤和宏

自由民主党宮城県支部連合会
会長代行

石川光次郎 先生

このたびは、7月の参議院議員選挙の自民党公認候補者である石川光次郎先生をお招きして、新春対談を企画させていただきました。(以下、敬称略)

■参院選への意気込みについて

佐藤 それでは、まず早速で恐縮ですが、7月(予定)の参議院選挙に立候補されるに当たっての意気込みを一言お願いいたします。

石川 ありがとうございます。やはり今、政治課題が山積している中でございます。まして我が国は人口減少社会に向かっていく中で、それにしつかりと対応でき得る構造に改革していかなければいけないと思っております。また、人手不足をはじめとする様々な課題を抱えていると思っております。今まで県会議員として19年間務めさせていただき、やはり地方の声、現場の声というものを中央政界に届けていかなければいけない、そうしなければ何も変えていくことができないという思いの中で、(参院選立候補を)今回決断しました。

■政治と金の問題について

佐藤 去年の総選挙におきましては、裏金問題があり自民党は相当苦戦しました。宮城の5選挙区では1勝4敗と惨敗したわけですが、そういった影響が参議院選挙でもあるかと思うのですけれども、その辺はいかがでしょう。

石川 やはり今も街頭に立っていますと、特に仙台市、都市部の場合は、まだまだ信頼回復までの道は遠いなと思っております。こういった問題に特効薬はないわけでありまして、自ら改革を進めて、その姿を見ていただいて、結果が出ることによって信頼の回復につながると思っております。

佐藤 やはり国民の怒りというのは相当であり、私もあれほどのものとは思わなかったのですが、今度の参議院選挙もかなり厳しいと思います。もし参議院選挙でも負けるようなことがありますと、政権交代につながります。私どもの組織内候補である釜薙敏先生もかなり



厳しい戦いを強いられるのではないかと思っております。

■物価高に対する政策とは

佐藤 この前の選挙で躍進した政党が、いろいろ生活に直結するような政策を打ち出し、SNS等も駆使して発信しており、物価高で苦しんでいる国民には受けているのではないかと思います。これについては、どのようにお感じになりますか。

石川 まさにそのとおりだと思っておりますし、やはり生活に直結する、またそれぞれの生業に直結する話題というのは、非常に国民の皆様は敏感に感じていらっしゃると思います。責任政党、政権を担っている与党側からすれば、しっかりとした財源を確保しながら、きちんと考えながらやっていかなければなりません。国民の耳ざわりがいいことだけではなく、よりよい形で持続的にそういったものを発信できるような形をつくっていかなければいけないと思っております。

■高額療養費制度の見直し案について

佐藤 ちょっと医療の話もしていきましよう。今、特に高額療養費制度の見直しについて話題があがっています。高額療養費制度は、例えば月に100万円医療費かかった場合、3割負担で本当は30万円の自己負担ですが、日本は非常に優しい国で、自己負担上限8万円幾らしかかかりません。高額療養費制

度の見直しについては、当初、最大で5万円ぐらい上限をアップするというだいたい厳しい案もありました。しかし、それではがん患者さんなどが治療を受けられないのではないかとということで、今は見直しがなされております。やはり、その辺りの調整というのは、一概に耳ざわりのいいことだけでは済まないということですよ。

石川 まあ、そういうことだと思っております。やはり財源にも限りがありますので、医療における課題についても、しっかりと議論を重ねていかなければいけないと思っております。やはり国民の命を守ることというのは、政治の一つの仕事、役割だと思っております。

■今、病院の経営が非常に厳しい状況です……

佐藤 医療についてお話を続けます。先生は「医療・福祉議員連盟」という県議会の中にある医療・福祉に関する連盟の会長でいらっしやいましたが、現在は、特に病院の経営が非常に厳しい状況になっています。このことについては、どのようにお考えでしょうか。

石川 そうですね、やはり医師不足、あと病院の経営という視点で、だいぶ前から問題意識を持ちながら活動は続けてきました。我々医療・福祉議員連盟は、医師会の皆様方の声を聞きながら、また患者さんたちの思いも反映させる役割があり、しっかりとその役割を果たすべく活動を続けてきました。医師会の



皆様方のご指導もいただきながら、現場の声をしっかりと生かしていくような形をつくっていききたいと思っております。

佐藤 ありがとうございます。我々医療者の、特に現場の声としては、民間の小病院の経営が非常に危なくなっている、そういった団体の長の方々は、かなり過激な言葉でもって、色々などところで発信されております。緊急支援パッケージや医療介護総合確保基金などの補助金をもっと倍増していただいで、民間病院に振り分けていただけないかと考えます。東京都は、民間病院を対象とした支援施策として321億円を計上した予算案を公表しました。こういったものを全国に広げていただく方が、現実的な施策であると思えます。先生にはぜひ当選して、そういうところで活躍願いたいと思っております。このまま民間の中小病院がバタバタと倒産すると、もう地域医療構想も何もあつたものではないし、今は後方支援病院の役割を民間中小病院が果たしていますが、それが果たせなくなると、急性期病院が本来の役割を果たせなくなってしまうので、ぜひ先生にはその辺りもご期待申し上げます。

石川 はい。

■政治家を志した きっかけをお伺いします

佐藤 さて、話をちょっと変えます。先生が政治家を志した動機というのはどういうことなのでしょう。



石川 もともと政治家がいる家系でもございませぬし、政治家になろうという思いは、幼少の頃はあまり持っていませんでした。どちらかという祖父が社会貢献を結構している家として、ある程度年を重ねて、「他の人ではできないようなことを、じいちゃん、ばあちゃんはやってきたんだな」と思うようになりました。小学校高学年のときに向かいに政治家の方が引っ越してこられました、それが師匠の中野正志さんなのですけれども、それで事務所に入りますようにになりました。そして大学生の頃から政治の世界に入り、今に至っております。

佐藤 先生は、県議会では議長にもなられ、今度は参議院へ挑戦されます。たまたまタイミング的には逆風ですが、ぜひ頑張ってください。我々も本当に必死になって応援したいと思います。

石川 はい、19年です。

佐藤 先生は、県議会では議長にもなられ、今度は参議院へ挑戦されます。たまたまタイミング的には逆風ですが、ぜひ頑張ってください。我々も本当に必死になって応援したいと思います。

■実は中学校の先輩後輩なんです

佐藤 それから、先生はお聞きしたところによると、小学校は通町小学校で、中学校は三条中学校で、高校は仙台三高で、大学は東北学院大学ということですね。実は私も三条中学校です。中学校の後輩だと最近知りまして……。

石川 はい！すみません。ありがとうございます。

佐藤 仙台三高ということですが、同窓の方

が色々な業界でたくさん活躍されていますね。先生の同窓の方々は必ず先生を応援すると思えますので、その方々を頼りに頑張りたいと思います。

石川 そうですね、特に仙台三高は、国会議員が今まで出ていないようなので、同窓の方々の期待をひしひしと感じております。

佐藤 私の周りでは某先生が三高出身だということ、で、「ぜひ先生の応援をします！」と言っていたのを大変心強く思いました。

■郡市の先生方がキーパーソンです！

佐藤 また、各郡市の理事の先生方がキーパーソンだと思っておりますので、私も宮城県医師連盟としては、郡市医師会の理事会を訪問させていただく活動を行っており、石川先生と釜沼敏先生の後援活動への協力をお願いしながら各地を回っております。

石川 ぜひよろしく願います。

佐藤 単なる参議院選挙というよりは、これからの日本の舵取りに関わる、非常に大事な選挙になると思えますので、先生にはぜひ頑張ってくださいと思いますし、私たちも誠心誠意応援したいと思います。石川先生、今日はどうもありがとうございます。

石川 どうもありがとうございます。よろしく願います。



QRコードより、かまやちさとし先生公式 SNS へ登録いただけます。かまやち先生の後援活動を共に盛り上げましょう！

伝える。届ける。

優れた医療・介護を すべての人へ、次世代へ。



かまやち さとし 公式HP・SNS			
「日本医師連盟HP」	「FaceBook」 https://www.facebook.com/profile.php?id=6156554526871	LINE 公式アカウント	「Youtube」
「公式HP」 https://www.dr-kamayachi.jp/		「ご招待QRコード」	「Youtube」 https://x.ud/inakana
		宮城県医師連盟	

医師連盟に入りました！

入会するにはどうすればいいの？ 会費は？

宮城県医師連盟事務局までご連絡ください！
TEL 022-227-0982 E-mail : miyairen@miyagi.med.or.jp

メールの場合は、件名を「医師連盟入会希望」としていただき、本文にご所属の郡市医師会、ご氏名、書類送付先をご記載ください。ご連絡いただきましたら入会書類をご送付いたします。

○会費について

- ・会費：36,000円/年額(6,000円×6回)
- ・原則として指定銀行より引去でお願いしております。

引去月：6・8・10・11・12月・翌年2月
引去日：引去月の27日(27日が土日・祝日の場合は翌営業日)

医師連盟メーリングリストへご登録ください!! ★お申し込みQRコードはこちら➡

郡市医師会理事会に訪問させていただきました！



石巻市医師会（令和6年11月21日）
石巻市医師会館



柴田郡医師会（令和6年11月5日）
みやぎ県南中核病院



大崎市医師会（令和6年10月7日）
大崎市医師会館

令和6年10月から令和7年3月に
かけて、郡市医師会理事会を訪問
し、かまやちさとし先生・石川光次
郎先生の後援活動について更なるご
協力をお願いしてまいりました。郡
市医師会の先生方におかれまして
は、貴重なお時間を頂戴し誠にあり
がとうございました。ここに改めて
御礼申し上げます。



名取市医師会（令和7年1月23日）
名取市文化会館



栗原市医師会（令和6年12月12日）
ホテル浦島



巨理郡医師会（令和6年12月3日）
巨理町保健福祉センター

- WEB 開催 —
- ・岩沼市医師会
（令和6年10月8日）
 - ・黒川医師会
（令和6年10月21日）
- 意見交換会開催 —
- ・仙台市医師連盟
（令和6年11月13日）



白石市医師会（令和7年2月12日）
白石市健康センター



遠田郡医師会（令和7年2月7日）
涌谷町国民健康保険病院



桃生郡医師会（令和7年2月4日）
桃生郡医師会館



気仙沼市医師会（令和7年1月28日）
気仙沼市医師会館



角田市医師会（令和7年3月10日）
角田市総合保健福祉センター



加美郡医師会（令和7年2月25日）
中新田公民館



宮城県塩釜医師会（令和7年2月20日）
宮城県塩釜医師会館



登米市医師会（令和7年2月18日）
登米市民病院

編集後記



宮城県医師連盟会計責任者
橋本省

昨今の物価上昇に伴い、政界も経
済界も賃上げを叫び、実際、春闘で
の満額回答や初任給の大幅引き上げ
が伝えられています。一方、医療界
では診療報酬はほとんど引き上げら
れず、財務省は引き下げすら画策し
ています。これでは、進歩する高度
医療への投資や医療人材の確保もま
まならず、地域医療そして何より医
業経営が危機に瀕することは明らか
です。この対策はもちろん、診療報
酬の大幅引き上げや補助金の手当て
などですが、これらは全て政治で決
まります。すなわち、我が国が誇る
国民皆保険による地域医療や、我々
医師および医療機関の生業を保って
ゆくには政治の力が絶対が必要です。
票は力といえます。我々が目指す
理想的な医療、そして我々の生活を
守って行くためには3年に1度の参
議院議員選挙の全国比例区において
医師会の団結と力を示すことが何よ
り大切です。冒頭に佐藤委員長が述
べているように、政治に興味がない
と言って傍観していれば、医師の生
業が成り立たなくなります。これは
勤務医と同じことです。病院で使
用する医療機器や病院自体の経営も
全て診療報酬が原資です。
約3か月後に迫った参議院議員選
挙では、ぜひ投票に行き、医師連盟
の結束を示しましょう。